

### 第30回技術研究発表会 梗概 < I 論文 >

【発表No. C02】

論文No.	C02
タイトル	首都圏外郭部の観光地におけるインバウンド受容意向と対応方策 ～長瀬町を事例とした基礎的調査～
所属・名前	ものづくり大学大学院 田尻 要 ものづくり大学大学院 新井 達也 ものづくり大学大学院 守家 和志 ものづくり大学大学院 早川 征太 埼玉県立いずみ高等学校 木村 奏太
キーワード	① インバウンド対策 ② 観光 ③ エリアマネジメント
<p>外国人観光客は東京等の主要都市や世界的に著名な観光地のみならず、首都圏の外郭部や地方へ訪れる機会が今後ますます増加すると考えられる。とくに首都圏の外郭部に存在する観光地は、高速鉄道等を利用しなくても東京から日帰りまたは1泊程度で移動できるような比較的近距离に存在するため、潜在的な需要は高いと考えられる。</p> <p>本研究で対象とした長瀬町は、埼玉県西部に位置し、ミシュラン・グリーンガイド・ジャポンで評価を得ている宝登山神社やジオパークなど、日本文化や自然が気軽に堪能できる観光地である。現在でも一定の外国人観光客は来訪し、各種の案内デバイスは整備されている一方で、住民の受容意向は必ずしも十分に把握されているとは言い難い。そこで本研究では、地域住民の受容意識の向上がインバウンド対策の重要な課題のひとつであることを鑑みて基礎的調査を実施し対応方策の検討を行った。</p>	